

# Takara standard

## レミュー フロントポケット 取扱説明書(お客様へ)

※裏面が設置説明書(設置される方へ)になっています。

- ◆この取扱説明書には『フロントポケット』特有の内容のみを記載しています。ご使用前に、この取扱説明書と合わせてシステムキッチンの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆この取扱説明書はシステムキッチンの取扱説明書と共に、いつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

### 安全上のご注意 **必ずお守りください**

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**⚠ 注意** この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



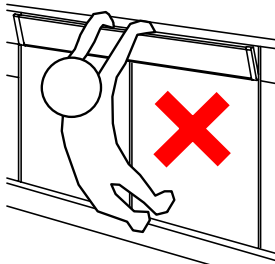
このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

### ⚠ 注意

開いた状態の扉にぶら下がったり、大きな力を掛けない



・落下による事故や、故障の原因になります。

部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかに修理を依頼する  
小さな部品の場合も、同様に修理を依頼する



・そのまま放置すると思わぬ事故(ケガや誤飲)がおこる可能性があります。

収納ボックスには過度に重い物を収納しない



最大収納荷重: 2kg

・正しく開閉できなかったり、破損の原因になります。

収納物の高さに注意する



収納可能高さ: 11cm以下

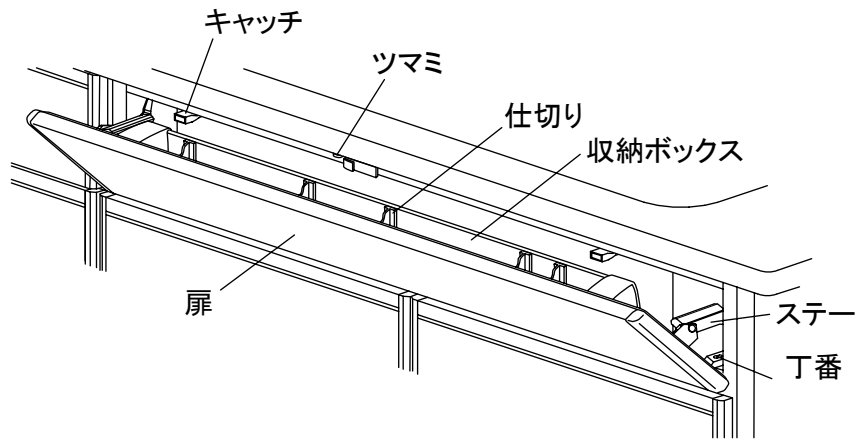
・キャビネットに干渉して、製品や収納物の破損、変形の原因となるおそれがあります。

扉の開閉の際は、必ず中央付近を押す



・端付近を押すと正しく開閉できない場合があります。  
また端付近を押し続けると扉が変形して、中央付近を押しても正しく開閉できなくなるおそれがあります。

# 各部の名称



## 使用方法

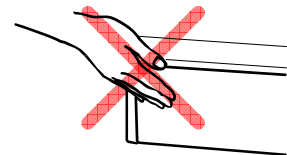
### (1) 扉の開閉のしかた

#### 開けかた

扉の中央付近を押し、『カチッ』とキャッチの音がしたら手を離す。

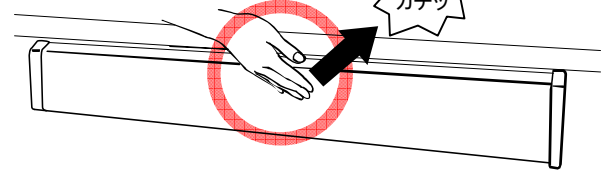
※開閉の際は、必ず中央付近を押してください。  
端付近を押すと正しく開閉できない場合があります。  
また端付近を押し続けると扉が変形して、中央付近を押しても正しく開閉できなくなるおそれがあります。

端付近で操作しない



中央付近を押し

カチッ

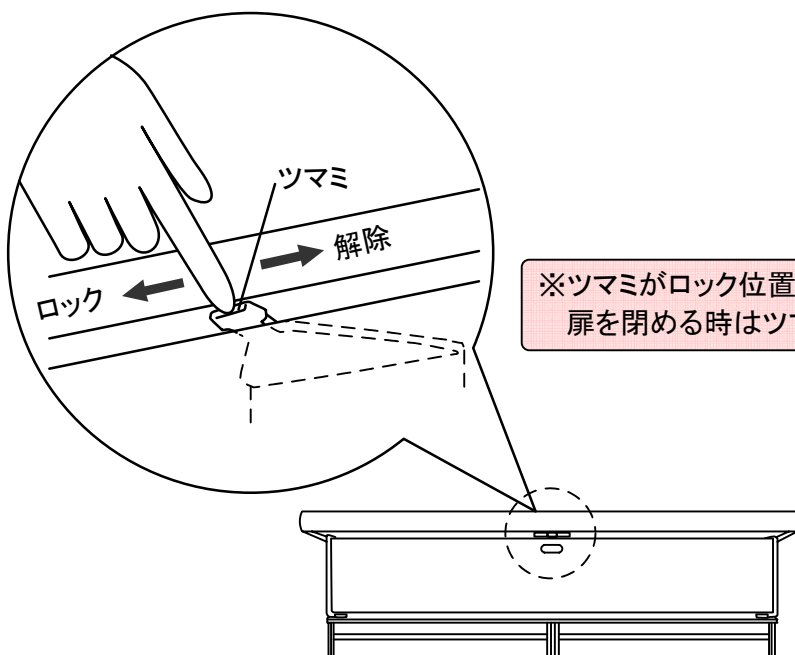


#### 閉めかた

扉の中央付近をゆっくり奥まで押し、手を離す。

ロック機構の使いかた ※意図しないときに間違って扉が開かないようにするための、ロック機構が付いています。

扉を閉めた状態で、ツマミを左右にスライドさせるとロック・解除できます。



※ツマミがロック位置にあると扉は閉まりません。  
扉を閉める時はツマミを解除位置にスライドさせてください。

## (2) 収納ボックスの使いかた ※収納ボックスの着脱は収納物を取りのぞいてから行う。

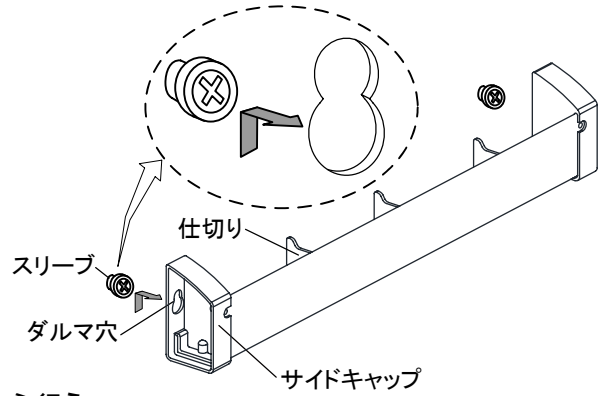
### 取りはずしかた

両サイドのサイドキャップを持って、上へ引き上げてははずす。

### 取り付けかた

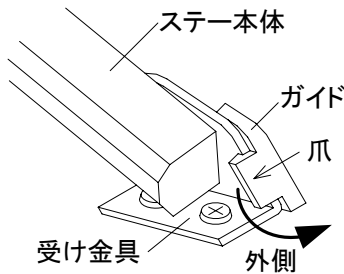
サイドキャップ両サイドのダルマ穴をスリーブを差し込み、「カチッ」と音が鳴るまで押し下げる。

※仕切りはマグネット付きで、好きな位置に移動可能です。

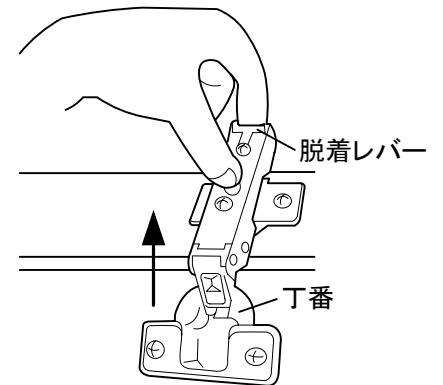
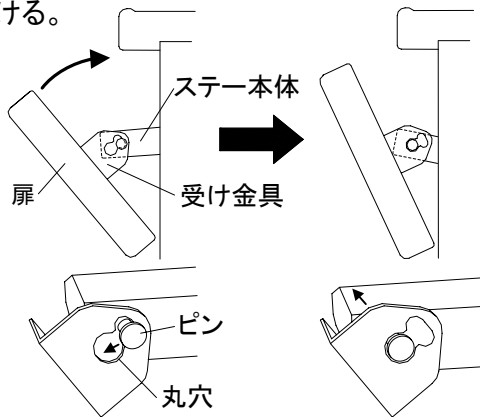


## (3) 扉のはずしかた ※扉の着脱は収納物を取りのぞいてから行う。

- ①扉を開けた状態で、左右のステーに付いているガイドの爪を外側に広げながら、ガイドをはずす。
- ②扉を少し閉めてステー本体のピンと受け金具の丸穴を合わせ、受け金具とステー本体をはずす。
- ③脱着レバーを引きながら、扉を上を持ち上げて丁番をはずす。
- ④取付ける場合は、逆の手順で取付ける。



※はずしにくい場合は、マイナスドライバーを使用してください。



## (4) 扉の調整のしかた

扉がガタついたり、段違いが発生した場合は、『(3) 扉のはずしかた』の②の状態、下記の要領にしたがって締め直し、または調整を行う。

※調整には短いプラスドライバーが必要です。  
短いプラスドライバーがない場合は、扉をはずした状態で作業してください。

### ガタツキの修正

「A」のネジを締めなおす。

### 前後調整

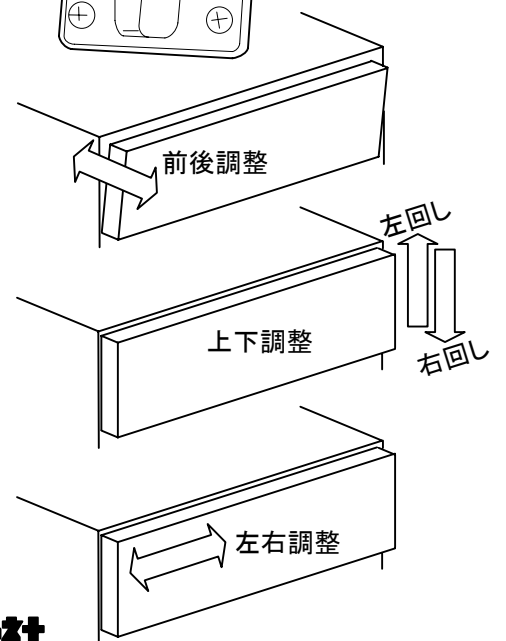
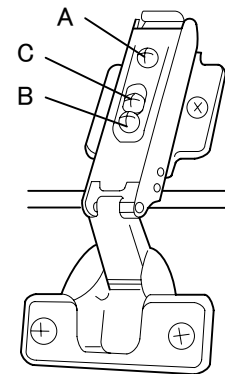
「A」のネジをゆるめて前後調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。

### 上下調整

- ①「B」のネジをまわして上下を調整する。
- ②「A」のネジがゆるむので締めなおす。

### 左右調整

「C」のネジをゆるめて左右調整をした後、ゆるめたネジを締めなおす。



**タカラスタンダード株式会社**

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

### 1. 設置される方へのお願い

- ◆キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- ◆本説明書は、『フロントポケット』についてのみ記載されています。記載内容以外についてはシステムキッチンの設置説明書にしたがって、正しく設置してください。
- ◆本説明書は紛失や汚れのないように保管し、工事完了後お客様にお渡しください。

### 2. 設置方法

#### (1)扉の取りはずし

3ページの『(3)扉のはずしかた』を参照して扉をはずしてください。

扉をはずす途中、②の受け金具とステー本体をはずした状態で、『(4)扉の取付と調整』を参照して一度扉調整をしてください。

注)扉の上下調整が不十分な場合、扉を取付ける際に下部の引出を損傷するおそれがあります。  
またワークトップ設置後は扉の調整がしにくくなります。ここで一度扉調整しておくとも最終調整が楽になります。

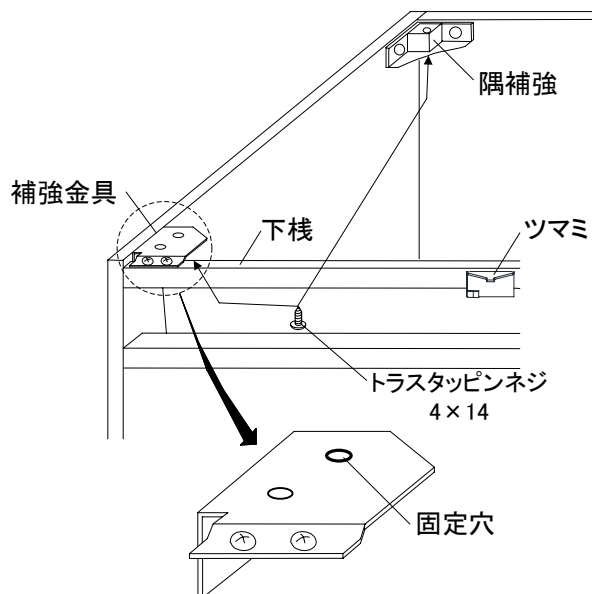
#### (2)ワークトップの固定

注)ワークトップをキャビネットに載せる際は、シンク裏面のシンクカバーやキャビネットのツマミが破損しないように気をつけてください。

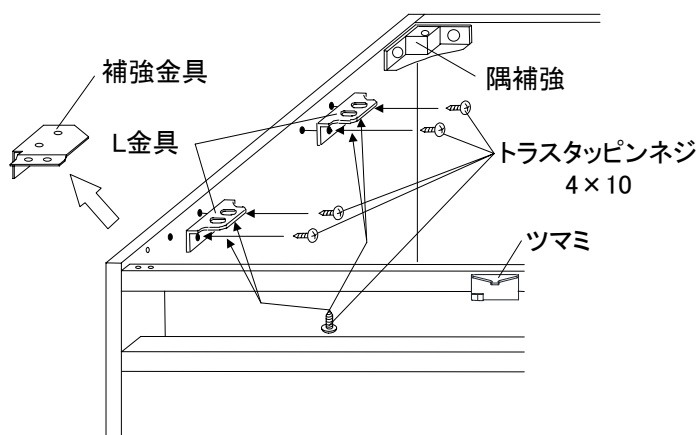
『フロントポケット』が付くシンクキャビネットは、前部のワークトップ固定方法が異なります。

- ・ステンレス製ワークトップの場合:補強金具からワークトップを固定してください。
- ・人造大理石製ワークトップの場合:補強金具をL金具に付け替えてワークトップを固定してください。

＜ステンレス製ワークトップの場合＞

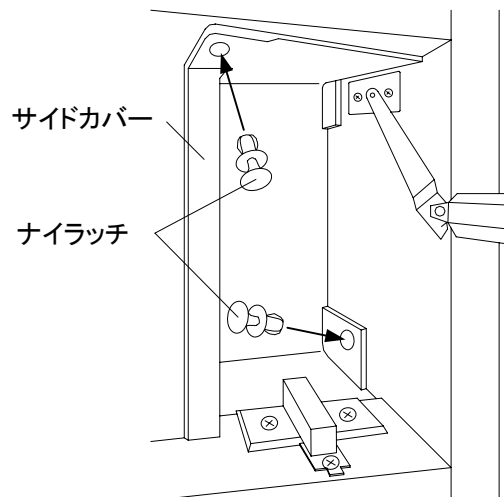
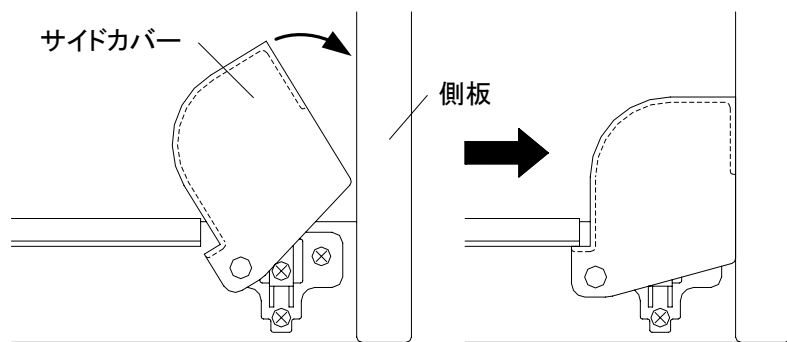


＜人造大理石製ワークトップの場合＞

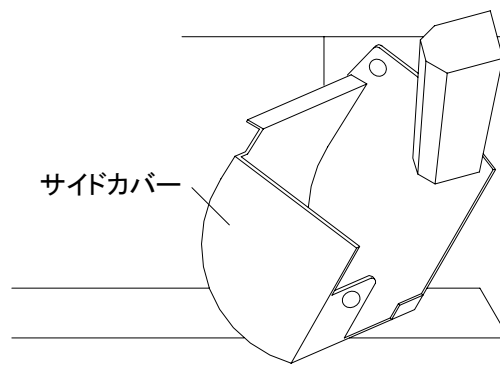


### (3) サイドカバーの取付

サイドカバーをキャビネットの内側から挿入し、ナイラッチで取付けてください。

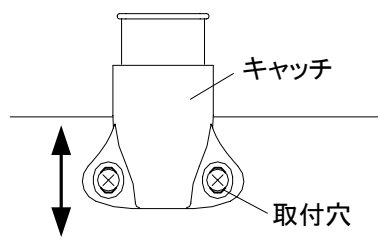
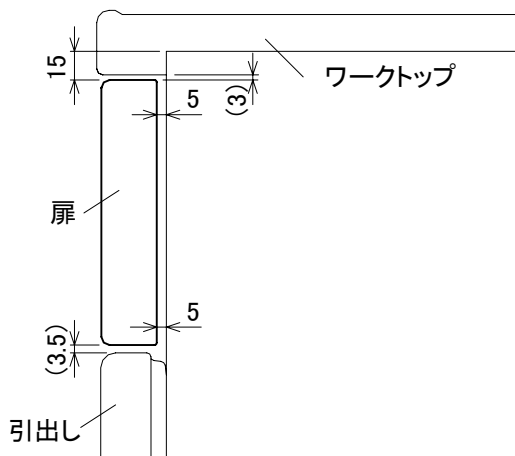


注)作業性は悪いですが、サイドカバーは手前から挿入可能です。  
(右図のように手前から奥まで一度入れて、内側から挿入するのと同じ要領で作業してください。)

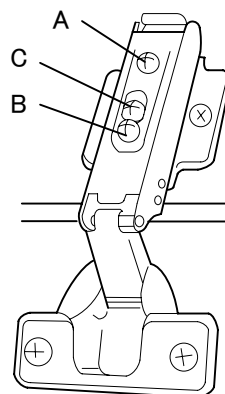


### (4) 扉の取付と調整

- ① 丁番をはめ込んで扉を取付けてください。
- ② ステーを付ける前に以下の要領で扉の調整をしてください。

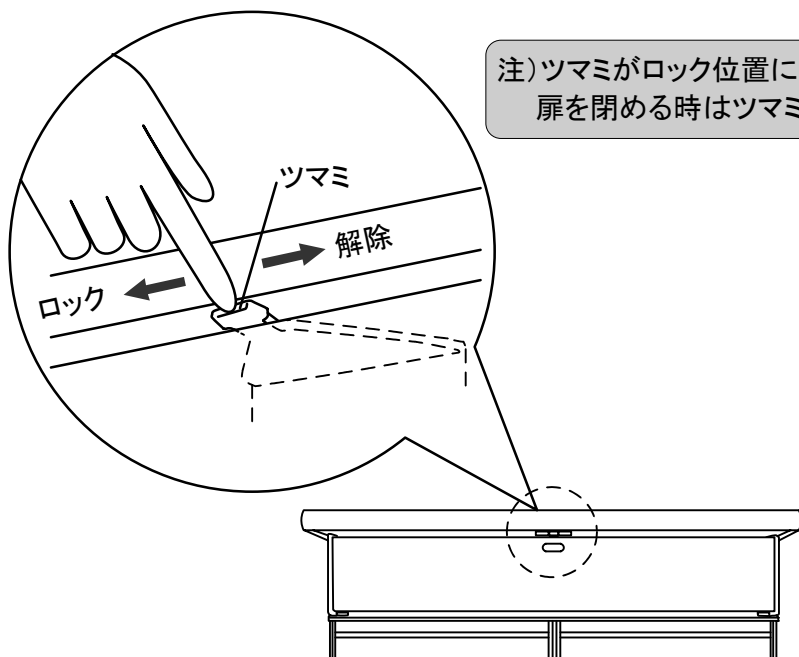


- ・前後調整 : Aのネジをゆるめて扉の前後調整をして、再度Aのネジを締め込んでください。  
上部の前後調整は、キャッチの取付穴が長穴になっていますので、ネジを緩めて調整してください。
- ・上下調整 : Bのネジを調整することにより、扉が上下に動きます。  
調整後、Aのネジが緩むので締めなおしてください。
- ・左右調整 : Cのネジをゆるめて扉の左右調整をして、再度Cのネジを締め込んでください。



③扉を閉めた状態で、ロック機構が正しく作動するか確認してください。(2ページの『ロック機構の使い方』を参照)

- ・ツマミをロック位置に移動する際、擦れて硬い → キャッチを手前側に調整
- ・ツマミをロック位置にしても、扉を強く押すと開く → キャッチを奥側に調整



④ステー本体と受け金具を接続して、ガイドを取付けてください。(3ページの『(3)扉のはずしかた』を参照)

注)作業完了後、扉を開閉してガタツキや丁番の緩みがないことを確認してください。